

議会は良識の府か 責任は職員と市民の負担増で

山田 誠



質問↓土地開発公社破たんに伴うセク債の認可に伴い、市職員待遇に関し、厳しい指摘指導があったと聞く。当

局は市民に厳しく、職員や議員には甘く自浄作用がないことが明白となった。市民の負担増はずでに始まっており職員の独自給与削減まで及んだ。市長は改めて議会に対し、議員報酬の削減要請をする気はないのか。また報酬等審議委員会を早急に設置する気はないのか。

答弁↓議会費については、民主主義のコストの一面もあり、そのあり方については議会の意見、考え方を十分聞かせていただきたいと考えている。

質問↓議会費の全国類似都市比較は、津山市議会では他市と比べて約8,700万円高い。非公式でも市長から議長へお願いができないものか。

答弁↓議員報酬を含めた議会のあり方については、議会で論議を重ねておられるので成り行きを見守りたい。

質問↓久米山ふれあいロッジ廃止で今後の活用は。答弁↓地域振興や経済効果も念頭に、民間活用も含め庁内会議で検討する。

都計道路「平福横山線」と 高齢者福祉について

新政クラブ 野村昌平

質問↓都市計画道路「平福横山線」の着工見通しは。津山バイパスから53号までを先行できないか。完成までの間は現道改良を。

答弁↓この都計道路は交通混雑の解消が図れ、経済性も高いことから現在事業中の「総社川崎線」の完了後の着手を目指す。着手箇所については詳細評価の上、どの工区を行う場合でも、その時代に真に求められる道路を見極めて事業化する。都計道路完成には相当の時間を要するので、その間、地域全体の状況を勘案しアクセス改善や安全対策を検討したい。

質問↓高齢者福祉に関する施政方針は。

答弁↓高齢者の方が、その人らしく、いつまでも住みなれた地域で、はつらつと暮らせるまちづくりを推進するため、「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、地域包括ケアシステムの構築を最重要課題として実現に努めている。そのため、



来年度策定予定の「地域福祉計画」において、包括ケアシステムの枠組みをより明確にしたい。

津山駅周辺に賑わいの創出を 入札や市政に暴力団の関与があるのか？

日本共産党津山市議団 末永弘之



質問↓津山駅北口広場整備計画の子算などが提案されたが、過去様々な「計画」が実現できなかった経過があり、よくぞここまで

やれたという実感だが、まちづくりの基本としてそこに住む人、お店を持っている人々が、整備後もそこに住み続けるまちづくりをすべきでは。

答弁↓今回の事業は用地買収方式であり、多数の人々の協力が必要である。地域に残られるか、移るかは個々の判断になるが、賑わいを図るうえにも駅前地域に残っていただくようお願いしたい。

質問↓津山市に關係する「指名業者」の中に、暴力団排除条例に抵触する会社はないということだが、なぜ津山は入札のたびに妙な噂が出るのか。

答弁↓答弁のしにくい質問である。暴力団排除条例を履行するものにした。警察などと連携を強めていきたい。

質問↓業者の中にいないとすれば、市議会議員の中に暴力団排除条例に抵触する人が有るか無いかを確認してほしい。

答弁↓議会の論議も含めてこの件について聞いてみたい。